



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年5月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES  
 コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水留 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 吉田 剛 TEL 06-6368-1001  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年9月期第2四半期の連結業績 (2022年10月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	143,298	2.2	5,232	△45.3	4,602	△49.1	3,727	△33.3	3,625	△35.1	2,758	△57.8
2022年9月期第2四半期	140,257	17.8	9,572	△27.0	9,046	△27.1	5,589	△28.0	5,588	△28.5	6,529	△22.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	31.33	31.11
2022年9月期第2四半期	48.26	47.96

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	337,094	65,538	65,417	19.1
2022年9月期	331,982	65,134	65,117	19.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	13.8	11,000	8.7	9,500	25.6	6,000	65.7	6,000	66.4	51.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期2Q	116,069,184株	2022年9月期	116,069,184株
2023年9月期2Q	385,284株	2022年9月期	394,448株
2023年9月期2Q	115,677,199株	2022年9月期2Q	115,788,904株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	12
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに係る行動制限が徐々に緩和されつつある一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴い資源価格が高騰しているのみならず、円安が進行しており、様々な物価が高騰し、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、同様にロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰や円安、様々な物価の高騰等により引き続き厳しい状況になっております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んでまいりました。

また、業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第2四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	644(18)	13	2(1)	655(17)
国内：杉玉ブランド(FC)	67(15)	8(1)	2	73(16)
国内：京樽ブランド	155(－)	3	14	144(－)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	103(－)	－	4	99(－)
国内：その他ブランド	24(－)	1	1	24(－)
国内合計	993(33)	25(1)	23(1)	995(33)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	87(2)	23	－	110(2)
海外：その他ブランド	3(－)	1	－	4(－)
海外合計	90(2)	24	－	114(2)
国内外合計	1,083(35)	49(1)	23(1)	1,109(35)

( ) 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益143,298百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益5,232百万円（前年同期比45.3%減）、税引前四半期利益4,602百万円（前年同期比49.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,625百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

国内スシロー事業につきましては、円安や水産資源の減少等による食材の調達コスト、物流費、地代、人件費、設備・建設資材の高騰など、飲食業を含めて事業会社を取り巻く環境の変化はこれまでに無いほど急激で大きなものがあり、2022年10月1日より、国内におけるスシロー全店において、価格の改定を行っております。

そのような中、2023年1月には、スシロー店舗における迷惑動画がSNSにおいて掲載され、拡散されました。このような行為は、お客さまへ安全・安心な「おすし」を提供する上で、食の安心と安全を脅かす重大な事案であると重く受け止めており、対象店舗において、すべての湯呑の洗浄、しょうゆボトルの入れ替えを実施し、今後の防止策としては、テーブルに備え付けの食器や調味料にご不安をお感じになられた場合の消毒済のものへの交換、全国の郊外型店舗に対してアクリル板の設置の実施などを行っております。

業績回復に向けた取り組みとして、「大切りてんこ盛り祭り」では、とろサーモン・紅鮭いくらてんこ盛りや特大ジャンボ赤えびなどを販売し、「うにとろ祭り」では、天然のうにを使った濃厚うに包みや、とろける炙りサーロインなどを提供し、「かに祭り」では、大型生本ずわい蟹や濃厚かに味噌ラーメンなどをお客さまにお楽しみいただきました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は98,749百万円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益は1,929

百万円（前年同期比79.0%減）となりました。

#### （海外スシロー事業）

海外スシロー事業につきましては、新型コロナウイルスによる営業規制が緩和され、店内飲食は徐々に回復に向かっております。

そのような中、積極的な事業展開に向けて、中国大陸においては成都の1号店を含め、合計12店舗を出店しました。その他の地域では、台湾5店舗、香港3店舗、タイ3店舗と、新規出店を継続し、海外スシロー事業において100店舗オープンを達成しております。

また、来店客数の維持・拡大に向けて、かにフェア（中国大陸）、南海フェア（韓国）、厳選新品祭（台湾）、赤シャリの春フェア（香港）、かに&まぐろフェア（シンガポール）、貝&春フェア（タイ）など、魅力的な販促・マーケティング政策を各地域で継続的に実施いたしました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は29,663百万円（前年同期比94.5%増）、セグメント利益は2,683百万円（前年同期比1,268.2%増）となりました。

#### （京樽事業）

京樽事業につきましては、テイクアウト事業では、2022年12月より冷凍鮭自販機による冷凍鮭の販売を開始したことが注目を集め、節分においては全4種の恵方巻、ひなまつりにおいては海鮮ひなちらしなどの限定商品が好評を得ました。また、現場での営業強化・製造効率化を実施するなど、現場改善にも取り組みました。

みさきブランドでは、2023年1月には「みさき本気のまぐろ祭2023」を開催し、生本鮭の様々な部位をお客さまにお楽しみいただきました。また、2023年3月より、通常提供している、赤酢をブレンドしたシャリ（赤シャリ）の配合を変更し、よりまろやかな酸味とコクがひろがる、特別仕様の赤シャリを使用した寿司を提供しております。

以上の結果、京樽事業の売上収益は12,448百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント損失は456百万円（前年同期セグメント損失977百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び資本の状況

#### （資産）

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,111百万円増加し、337,094百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、67,953百万円となりました。これは主に、資金の返済等により現金及び現金同等物が2,550百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,151百万円増加し、269,141百万円となりました。これは主に、新店出店等により有形固定資産が4,945百万円増加したこと等によるものであります。

#### （負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,708百万円増加し、271,556百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ23,682百万円増加し、77,749百万円となりました。これは主に、社債の一部における非流動社債からの振り替えに伴い、社債及び借入金が19,984百万円増加したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ18,974百万円減少し、193,807百万円となりました。これは主に、社債の一部における流動社債への振り替え及び借入金の返済により、社債及び借入金が21,971百万円減少したこと等によるものであります。

#### （資本）

資本合計は、前連結会計年度末に比べ403百万円増加し、65,538百万円となりました。これは主に、配当金の支払により2,603百万円、為替換算調整勘定が969百万円それぞれ減少した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により3,625百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,550百万円減少し、48,087百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、19,171百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

これは主に、税引前四半期利益4,602百万円、減価償却費及び償却費12,693百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が2,193百万円、法人所得税の還付額が2,466百万円あった一方で、営業債権及びその他の債権の増加が1,779百万円、法人所得税の支払額が1,207百万円、あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8,202百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が7,068百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、12,939百万円（前年同期20,262百万円の獲得）となりました。

これは主に、リース負債の返済による支出が8,358百万円、配当金の支払額が2,596百万円、長期借入金の返済による支出が2,005百万円あったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月4日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	50,637	48,087
営業債権及びその他の債権	11,397	10,801
棚卸資産	3,534	4,075
その他の金融資産	457	1,452
その他の流動資産	1,967	3,538
流動資産合計	67,993	67,953
非流動資産		
有形固定資産	162,490	167,436
のれん	30,371	30,371
無形資産	55,968	56,031
持分法で会計処理されている投資	178	52
敷金及び保証金	13,420	13,715
その他の金融資産	541	541
繰延税金資産	191	191
その他の非流動資産	830	803
非流動資産合計	263,990	269,141
資産合計	331,982	337,094
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	27,435	29,467
社債及び借入金	4,009	23,993
未払法人所得税	189	798
リース負債	15,650	16,550
その他の金融負債	963	932
引当金	2,347	2,369
その他の流動負債	3,473	3,640
流動負債合計	54,067	77,749
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	23	23
社債及び借入金	88,923	66,952
リース負債	105,624	108,509
その他の金融負債	100	101
引当金	4,012	4,143
繰延税金負債	14,092	14,072
その他の非流動負債	5	6
非流動負債合計	212,781	193,807
負債合計	266,848	271,556
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,692	15,691
利益剰余金	47,579	48,601
自己株式	△1,894	△1,867
その他の資本の構成要素	3,639	2,891
親会社の所有者に帰属する持分合計	65,117	65,417
非支配持分	18	121
資本合計	65,134	65,538
負債及び資本合計	331,982	337,094

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上収益	140,257	143,298
売上原価	△65,515	△64,154
売上総利益	74,741	79,144
販売費及び一般管理費	△66,925	△73,234
その他の収益	3,809	1,017
その他の費用	△2,054	△1,696
営業利益	9,572	5,232
金融収益	212	52
金融費用	△448	△733
持分法による投資損益 (△は損失)	△289	52
税引前四半期利益	9,046	4,602
法人所得税費用	△3,457	△875
四半期利益	5,589	3,727
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,588	3,625
非支配持分	1	103
四半期利益	5,589	3,727
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	48.26	31.33
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	47.96	31.11



## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期利益	5,589	3,727
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	940	△969
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	940	△969
税引後その他の包括利益	940	△969
四半期包括利益	6,529	2,758
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,527	2,655
非支配持分	2	103
四半期包括利益	6,529	2,758

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高	100	15,755	46,584	△0	1,130	63,569	4	63,573
四半期利益			5,588			5,588	1	5,589
その他の包括利益					940	940	0	940
四半期包括利益合計	—	—	5,588	—	940	6,527	2	6,529
自己株式の処分		△30		81	△13	37		37
自己株式の取得		△20		△2,000		△2,020		△2,020
株式に基づく報酬取引					208	208		208
配当金			△2,612			△2,612		△2,612
所有者との取引額合計	—	△50	△2,612	△1,919	195	△4,386	—	△4,386
2022年3月31日時点の残高	100	15,704	49,560	△1,919	2,265	65,710	6	65,716

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高	100	15,692	47,579	△1,894	3,639	65,117	18	65,134
四半期利益			3,625			3,625	103	3,727
その他の包括利益					△969	△969	1	△969
四半期包括利益合計	—	—	3,625	—	△969	2,655	103	2,758
自己株式の処分		△12		28	△2	14		14
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		11			△11	—		—
株式に基づく報酬取引					233	233		233
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△1	△2,603	28	221	△2,355	—	△2,355
2023年3月31日時点の残高	100	15,691	48,601	△1,867	2,891	65,417	121	65,538

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,046	4,602
減価償却費及び償却費	10,945	12,693
減損損失	1,791	1,541
金融収益	△172	△52
金融費用	448	733
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,583	22
敷金及び保証金の家賃相殺額	132	131
持分法による投資損益 (△は益)	289	△52
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2,730	△1,779
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△774	△551
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	2,753	2,193
その他	△1,678	△940
小計	23,928	18,541
利息及び配当金の受取額	5	37
利息の支払額	△401	△665
法人所得税の支払額	△6,867	△1,207
法人所得税の還付額	—	2,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,665	19,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,372	△7,068
有形固定資産の売却による収入	0	652
無形資産の取得による支出	△792	△446
定期預金の預入による支出	—	△780
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△669	△1,394
その他	31	834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,801	△8,202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	34,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,005	△2,005
リース負債の返済による支出	△7,142	△8,358
支払手数料の支払による支出	△2	△1
自己株式の取得による支出	△2,000	△0
新株予約権の行使による収入	24	14
配当金の支払額	△2,608	△2,596
その他	△6	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,262	△12,939
現金及び現金同等物の増加額	28,126	△1,970
現金及び現金同等物の期首残高	29,367	50,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	416	△580
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,909	48,087

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド（主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」）

その他事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

## ②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシ ロー事業	海外スシ ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	112,273	15,249	10,768	1,967	140,257	—	140,257
セグメント間収益	68	—	—	—	68	△68	—
計	112,340	15,249	10,768	1,967	140,325	△68	140,257
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	9,197	196	△977	△370	8,046	1,525	9,572
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	7,853	1,908	821	185	10,767	178	10,945
減損損失	483	439	704	164	1,791	—	1,791

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,525百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシ ロー事業	海外スシ ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	98,749	29,663	12,333	2,553	143,298	—	143,298
セグメント間収益	—	—	116	7	123	△123	—
計	98,749	29,663	12,448	2,560	143,421	△123	143,298
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	1,929	2,683	△456	△203	3,953	1,279	5,232
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	7,957	3,331	820	310	12,418	275	12,693
減損損失	1,175	98	116	152	1,541	—	1,541

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,279百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

## (販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
従業員給付費用	37,857	40,213
減価償却費及び償却費	10,899	12,661
水道光熱費	3,133	4,295
支払手数料	2,359	2,988
その他	12,677	13,078
合計	66,925	73,234

## (1株当たり利益)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	5,588	3,625
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	5,588	3,625
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	5,588	3,625
基本的期中平均普通株式数(株)	115,788,904	115,677,199
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	726,533	831,977
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,515,437	116,509,176
基本的1株当たり四半期利益(円)	48.26	31.33
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	47.96	31.11
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (普通株式70千株)	新株予約権3種類 (普通株式172千株)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。